

1
ダニエル
聖徒伝 210

世にある 寄留の民として

ダニエル書1章

バビロン捕囚・ダニエルの任官

アウトライン

0. ダニエル書とは？

I. バビロン捕囚

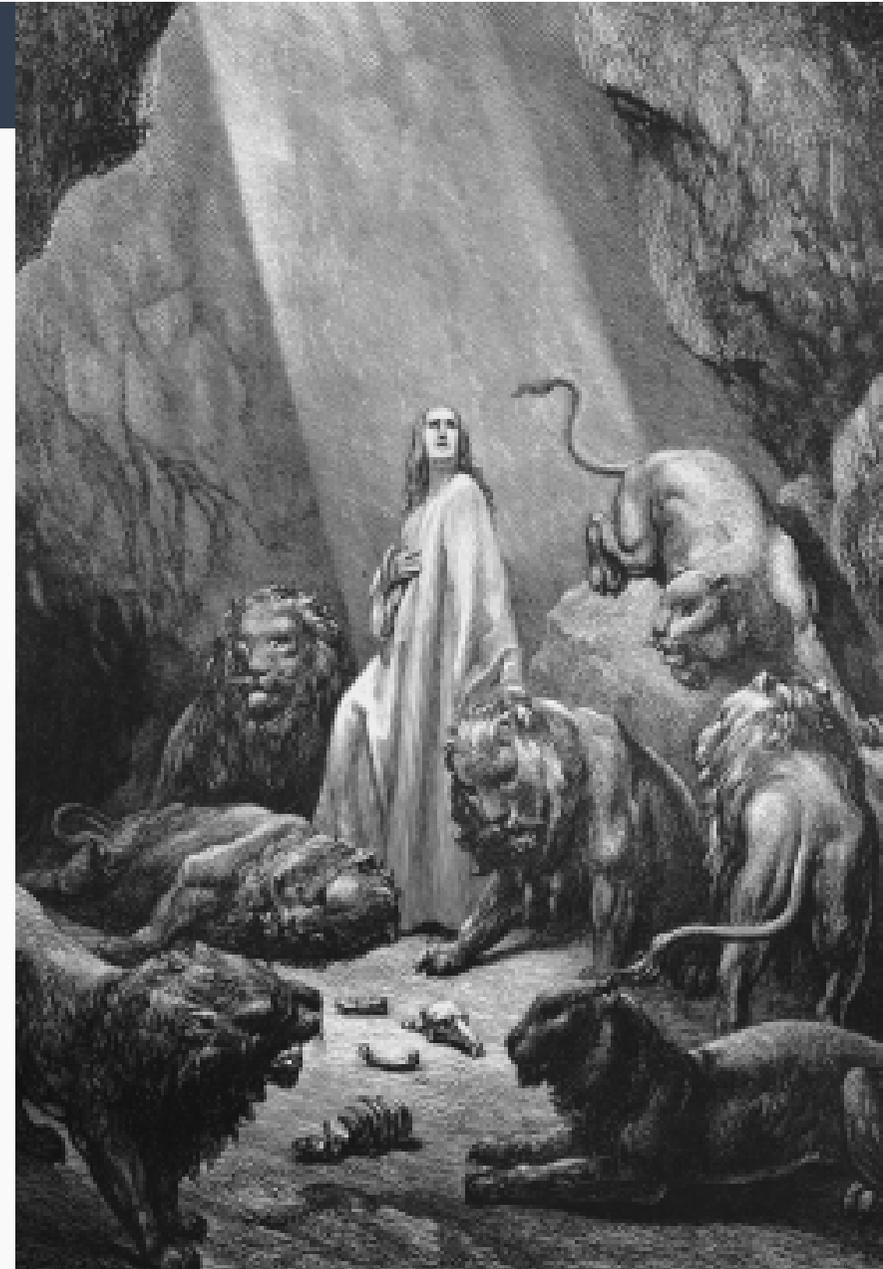
II. 捕囚の地で 1章1～7節

III. 異国での信仰と祝福

1章8～21節

IV. まとめと適用

世にある寄留の民として





0. イントロダクション ダニエル書とは？

聖書の中のダニエル書

- 教会の区分では、大預言書(預言書のボリュームが大)の一つ
- ヘブル聖書の従来区分では、預言者ではなく、諸書
 - ➔ この書の中で、ダニエルは預言者と呼ばれていない
(バビロンでは、呪術師、呪法師の一人という扱い)
- イエスは、ダニエルを預言者と呼ばれた。
「マタ 24:15 それゆえ、預言者ダニエルによって語られたあの『荒らす忌まわしいもの』が聖なる所に立っているのを見たら—」

ダニエル書について

- 著者 …ダニエル 「私ダニエルが…」(8回)
- 場所 …バビロン
- 時代 …バビロン～ペルシャまで(約70年間)
- 構成 …1～6章は歴史、7～12章は預言が中心
- 言語 …1章 ヘブル語
…2～7章 アラム語(異邦人が対象)
…8～12章 ヘブル語(イスラエル対象)



黙示文学について

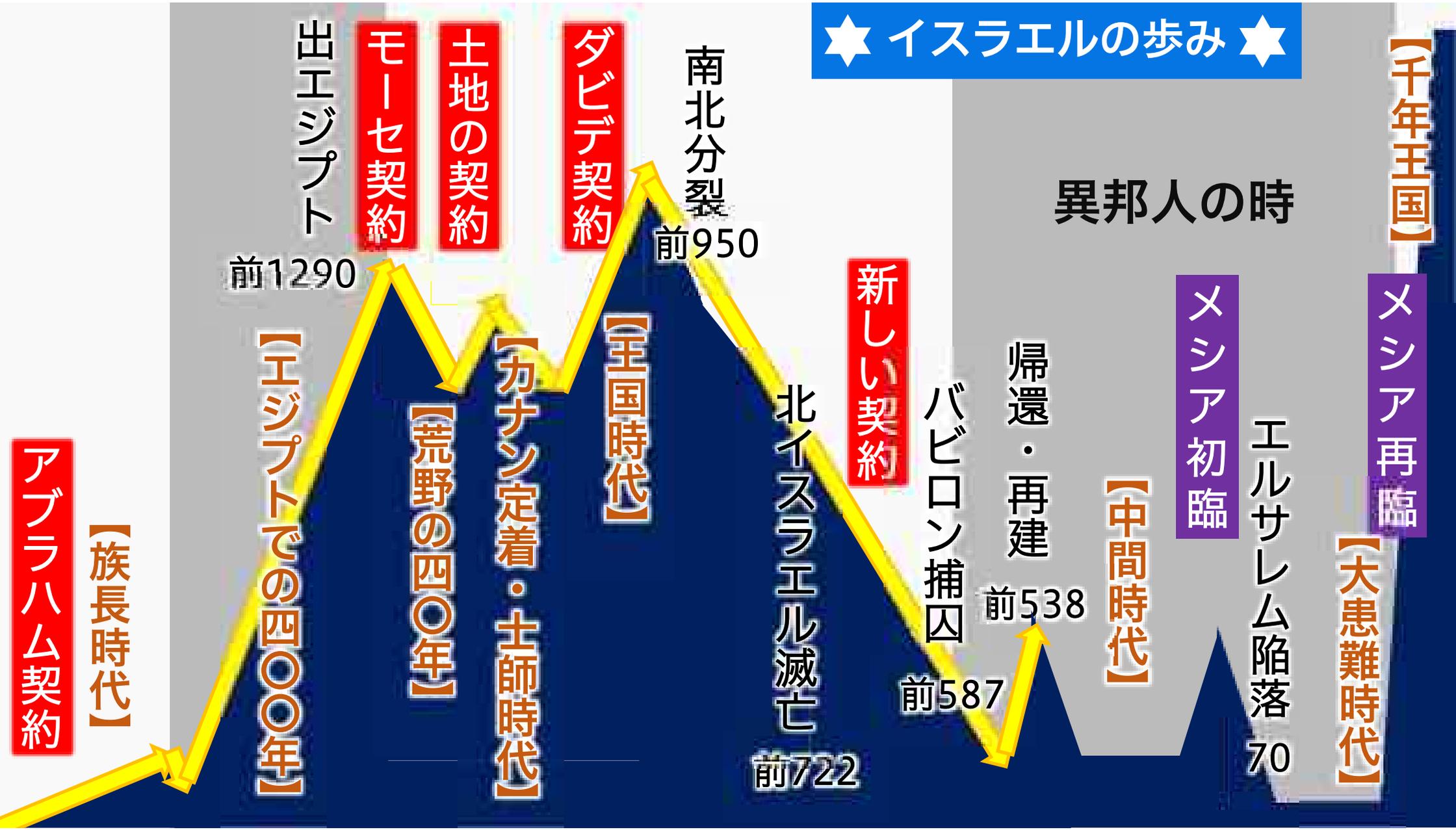
- ダニエル書は、聖書で最初に記された「黙示文学」(後世に分類)「アポカリプシス(ギリシャ語)」 → “覆いをとる。啓示”
- おもな特徴
 - …啓示の仕方が特に珍しいもの
 - …神が見せた幻をそのまま書き記す
 - …象徴(シンボル)やしるし(サイン)を多様
 - …韻文(詩)ではなく、散文(文章)で記される
- 内容 …神の民イスラエル、および世界の将来について
- 聖書の黙示文学
 - …エゼキエル書37～48章
 - ゼカリア書1:7～7:8 黙示録



1. バビロン捕囚

バビロン捕囚 byティソ

★ イスラエルの歩み ★



アブラハム契約

【族長時代】

【エジプトでの四〇〇年】

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

北イスラエル滅亡

前950

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

エルサレム陥落

70

メシア初臨

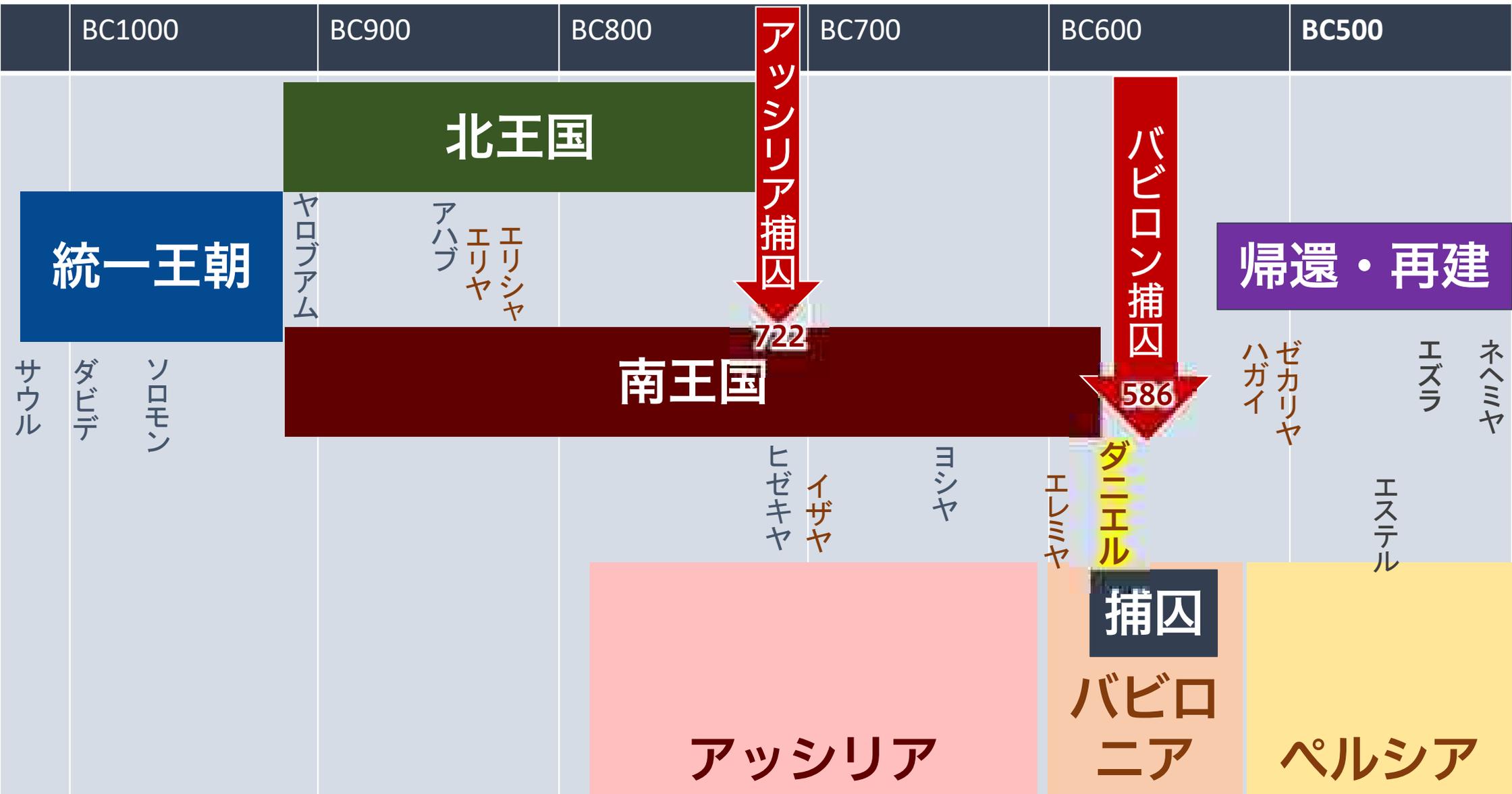
【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】

異邦人の時

イスラエル王国史



北王国
イスラエル

南王国
ユダ

アッシリア捕囚

BC722年

預言者の空白時代

マナセ 

ヒゼキヤ 

29年

55年

アモン  2年

エホアハズ 3ヶ月

ヨシヤ 

31年

エホヤキム  11年

エホヤキン  3ヶ月

ゼデキヤ  11年

ハバクク

イザヤ

エレミヤ

ミカ

ゼパニヤ

バビロニア

ダニエル

エゼキエル

バビロン捕囚 ①

バビロン捕囚 ②

バビロン捕囚 ③

バビロン捕囚 第1～3次

■ BC605 …エホヤキムの時。ネブカドネツアルがエルサレム侵攻。

第一次バビロン捕囚 …ダニエル

■ BC597 …エホヤキンの時、エルサレムを包囲、占拠。
有能な市民をバビロンに連れ去る。ゼデキヤを傀儡に。

第二次バビロン捕囚 …エホヤキン王、エゼキエル

■ BC589 …反逆したゼデキヤに対して、再びエルサレムを包囲。

■ BC587(586) …エルサレム陥落。完全な壊滅。神殿も破壊。
エルサレムの住民の多くが捕囚としてバビロンへ。

第三次バビロン捕囚 …ゼデキヤ王

新バビロニア 帝国



第一次捕囚後に、エジプトを侵略
第三次捕囚で、エルサレムを完全に破壊

王たちの末路

- ① 第一次捕囚 …エホヤキム王は、捕囚は免れた。
- ② 第二次捕囚 …エホヤキン王は、母、家来、高官と共に捕囚。
のち、バビロン王の恩寵を受け、王の食卓に。
- ③ 第三次捕囚 …ゼカリヤ王(エホヤキンのおじ)は、目の前で
息子たちを虐殺、目をつぶされ、バビロンへ連行。

バビロン捕囚とは？

- **原因** …ソロモン以来、悪化していった**偶像礼拝**
→悪王マナセの時代が決定的!!
- **結果** …バビロニアによる、エルサレム侵略、神殿の破壊
- **意味** …**①**70回分(490年分)の安息年 →70年の捕囚
②偶像礼拝の発祥の地バビロンへ
→そんなに偶像礼拝が好きなら…とばかりに

バビロン捕囚の理由 ①約束の地の安息のため

■歴代誌第二36:21

「これは、エレミヤによって告げられた【主】のことばが成就して、この地が**安息**を取り戻すためであった。その荒廃の全期間が七十年を満たすまで、この地は**安息**を得た。」

→70回分(490年分)の**安息年**として、70年の捕囚が確定

バビロン捕囚の理由 ②マナセの罪

■列王記第二24:3～4

「実に、このようなことがユダに起こったのは、ユダを主の前から除くという【主】の命によることであり、それはマナセが犯したすべての罪のゆえ、また、マナセが流した咎のない者の血のためであった。マナセはエルサレムを咎のない者の血で満たした。そのため【主】は赦そうとはされなかったのである。」

➡マナセの時代に、偶像礼拝が極まり、裁きが確定!!

神殿の祭具の行方

■ 列王記第二 24:13

「バビロンの王は、【主】の宮の財宝と王宮の財宝をことごとく運び出し、【主】の神殿の中にあるイスラエルの王ソロモンが作った**すべての金の用具を切り裂いた**。【主】が告げられたとおりであった。」

■ **契約の箱** (すでに主の栄光は去っていた) は、解体され、覆っていた金だけが運び去られたのだろう。



II. 捕囚の地で

ダニエル書1章1～7節

バビロン イシュタル門

捕囚 第一次捕囚 ダニエル1:1～2

ユダの王エホヤキムの治世の第三年に、バビロンの王ネブカドネツアルがエルサレムに来て、これを包囲した。

主は、ユダの王エホヤキムと、神の宮の器の一部*を彼の手に渡された。彼は、それをシニアルの地*にある自分の神の神殿に持ち帰り、その器を自分の神の宝物倉に納めた。

*当時の戦いでは、敵の神の偶像を奪い、

戦勝の記念にした。➡器を偶像の代わりに

*バベルの塔の建設地 ➡偶像礼拝の発祥地

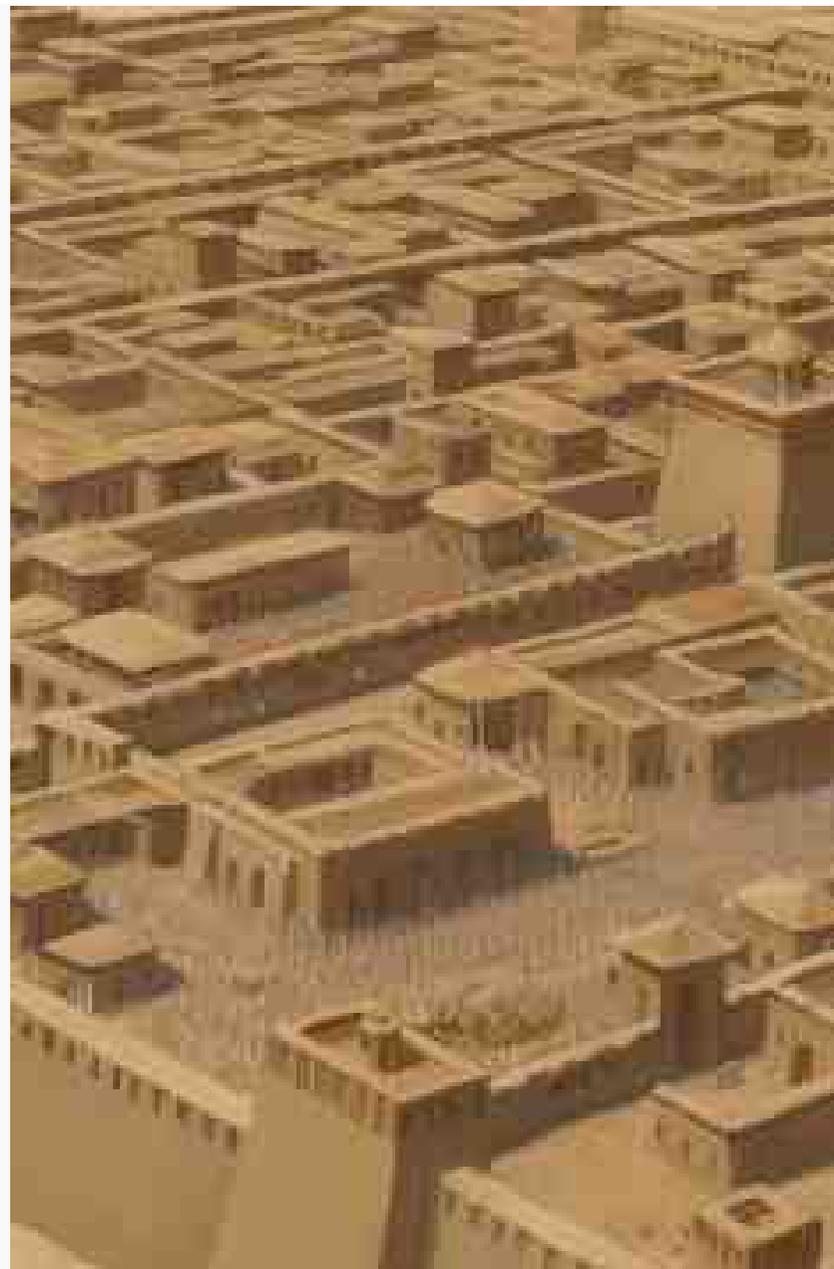


選出 王の命令 ダニエル1:3

王は宦官*の長アシュペナズに命じて、イスラエルの人々の中から、王族や貴族を数人選んで連れて来させた。

*去勢され、王に仕えた家臣

➡王の側室や妻を奪う反逆を防ぐ

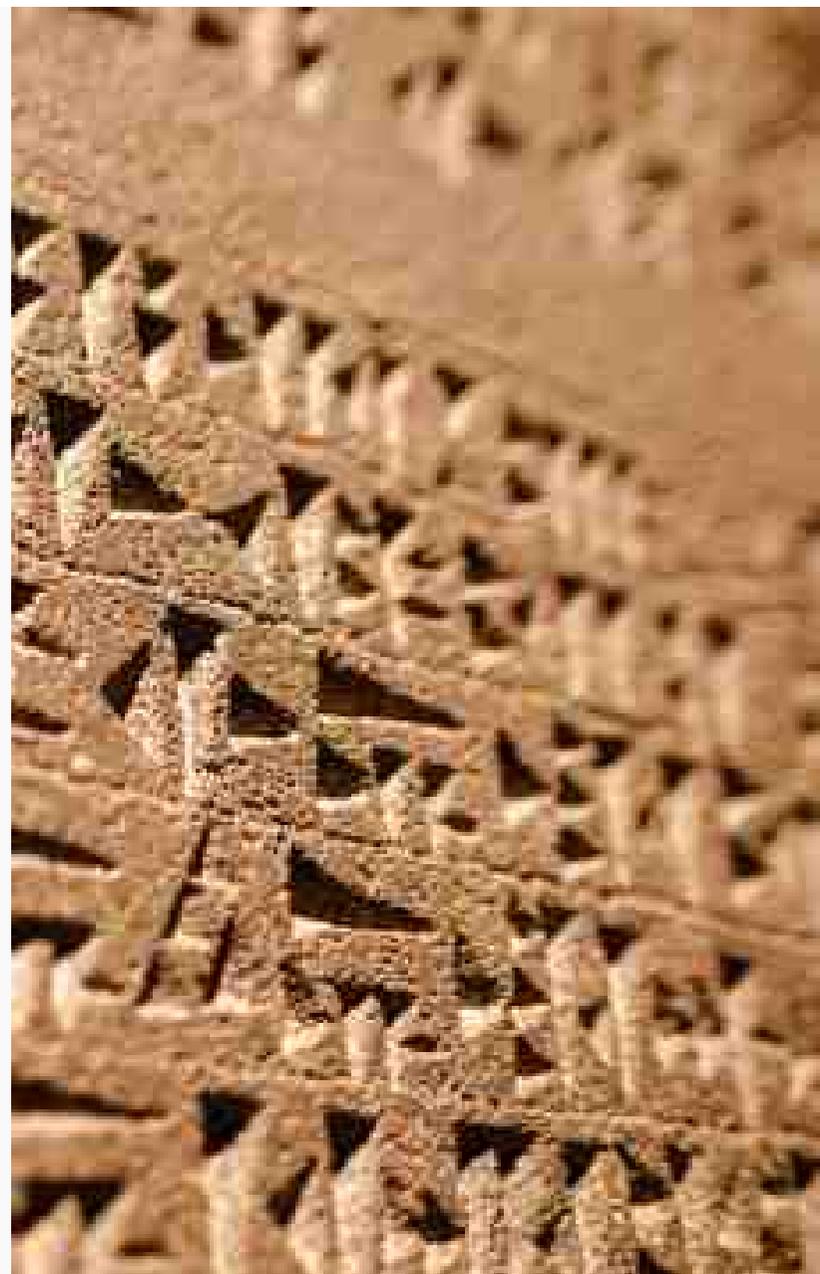


選出 王の命令 ダニエル1:4

それは、その身に何の欠陥もなく、容姿が良く、あらゆる知恵に秀で、知識に通じ、洞察力に富み、王の宮廷に仕えるにふさわしく、また、カルデア人の文学とことば*を教えるにふさわしい少年たちであった。

*アラム語。記載には楔形文字が使用。

■少年の時から徹底して同化した
優秀なユダヤ人にユダヤ人を治めさせる。



成就した捕囚の預言

■ イザヤ書39:5～7

イザヤはヒゼキヤに言った。

「万軍の【主】のことばを聞きなさい。

見よ。あなたの家にある物、あなたの父祖たちが今日まで蓄えてきた物がすべて、バビロンへ運び去られる日々が来る。

何一つ残されることはない——【主】は言われる——。

また、あなたが生む、あなた自身の息子たちの中には、捕らえられてバビロンの王の宮殿で宦官となる者がいる。」

養育 王の思惑 ダニエル1:5

王は、王が食べるごちそうや王が飲むぶどう酒から*、毎日の分を彼らに割り当てた。三年間、彼らを養育して、その後で王に仕えさせることにした。

*食とは交わり、相手との一体化

➡和解の食事は、神との交わり、一体化

■身も心も完全に王と一体の、忠実で従順、かつ優秀で有用な部下を育成しようとした。



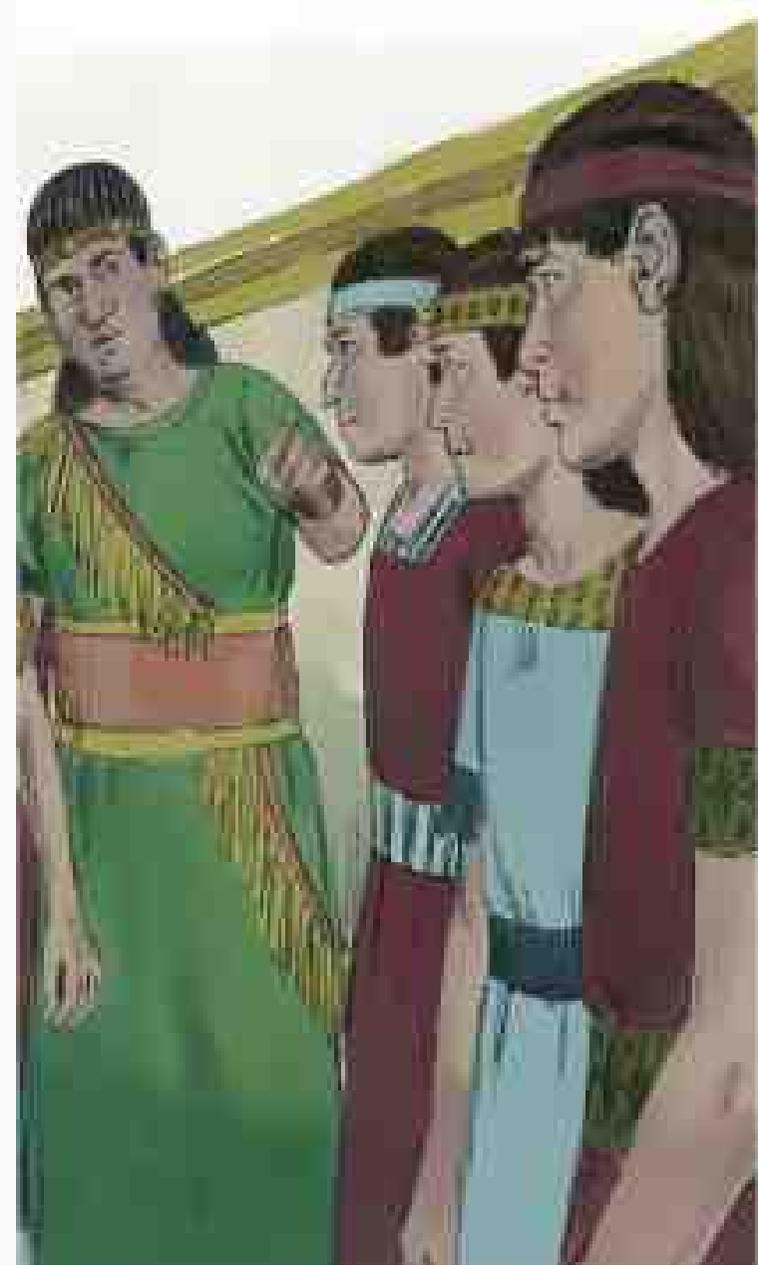
改名 四人の少年 ダニエル1:6~7

彼らのうちには、ユダ族のダニエル、ハナンヤ、ミシャエル、アザルヤがいた。

宦官の長は彼らに別の名前をつけた*。すなわち、ダニエルにはベルテシャツアル、ハナンヤにはシャデラク、ミシャエルにはメシャク、アザルヤにはアベデ・ネゴと名をつけた。

*王の命令・王国の方針だっただろう。

➡改名は、最も強力な同化政策



消された主の御名

- **ダニエル**
(**神**は我が裁き主) → **ベルテシャツアル**
(**ベル**は彼の命を守る)
- **ハナンヤ**
(**ヤハウエ**のご好意) → **シャデラク**
(**アク**に靈感を受けた)
- **ミシャエル**
(誰が**神**のようであろうか) → **メシャク**
(**アク**はどんなお方か)
- **アザルヤ**
(**ヤハウエ**が助けられた) → **アベデ・ネゴ**
(**ネゴ**に仕える者)



Ⅲ. 異国での信仰と祝福

ダニエル書1章8～21節

再現されたバビロン

誓願 主の恵みと憐れみ ダニエル1:8~9

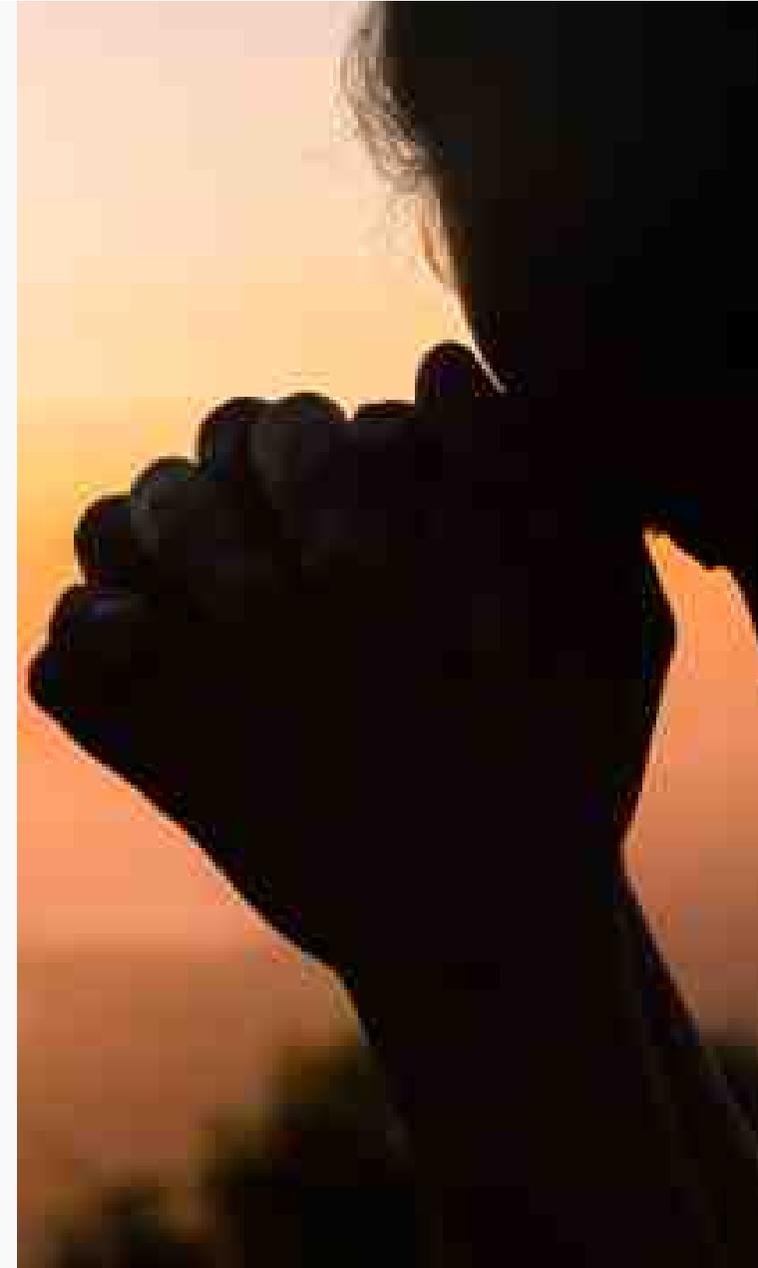
ダニエルは、王が食べるごちそうや王が飲むぶどう酒で身を汚すまい*と心に定めた。そして、身を汚さないようにさせてくれ、と宦官の長に願うことにした。

神は、ダニエルが宦官の長の前に恵みとあわれみを受けられるようにされた。

*偶像に献げられた肉やぶどう酒

■本来、王が与えたものを拒むことは不可能

➔宦官の長への訴えも命がけの行為



偶像礼拝者のぶどう酒

■申命記32:32～33 モーセの最後の歌から

「まことに彼らのぶどうの木は、ソドムのぶどうの木から、
ゴモラのぶどう畑からのもの。彼らのぶどうは毒ぶどう。
その房は苦い。

そのぶどう酒は蛇の毒、コブラの恐ろしい毒。」

■偶像礼拝に陥ったイスラエルが、約束の地を追われ
異教徒に苦しめられることをモーセはすでに警告していた。

誓願 宦官の長 ダニエル1:10

宦官の長はダニエルに言った。「私は、あなたがたの食べ物と飲み物を定めた王を恐れている。あなたがたの顔色が同年輩の少年たちよりもすぐれないのを、王がご覧になるのはよいことだろうか。あなたがたのせいで、私は王に首を差し出さなければならなくなる」

■ 王の命令は絶対。逆らえば死。

宦官の躊躇は当然のこと。

➔ 宦官の長は申し出を拒んだが、
ダニエルは罰せられなかった



申出 世話役へ ダニエル1:11

そこでダニエルは、宦官の長がダニエル、ハナンヤ、ミシャエル、アザルヤのために任命した世話役*に言った。

- あきらめず、一番身近にいた世話役に申し出たダニエル

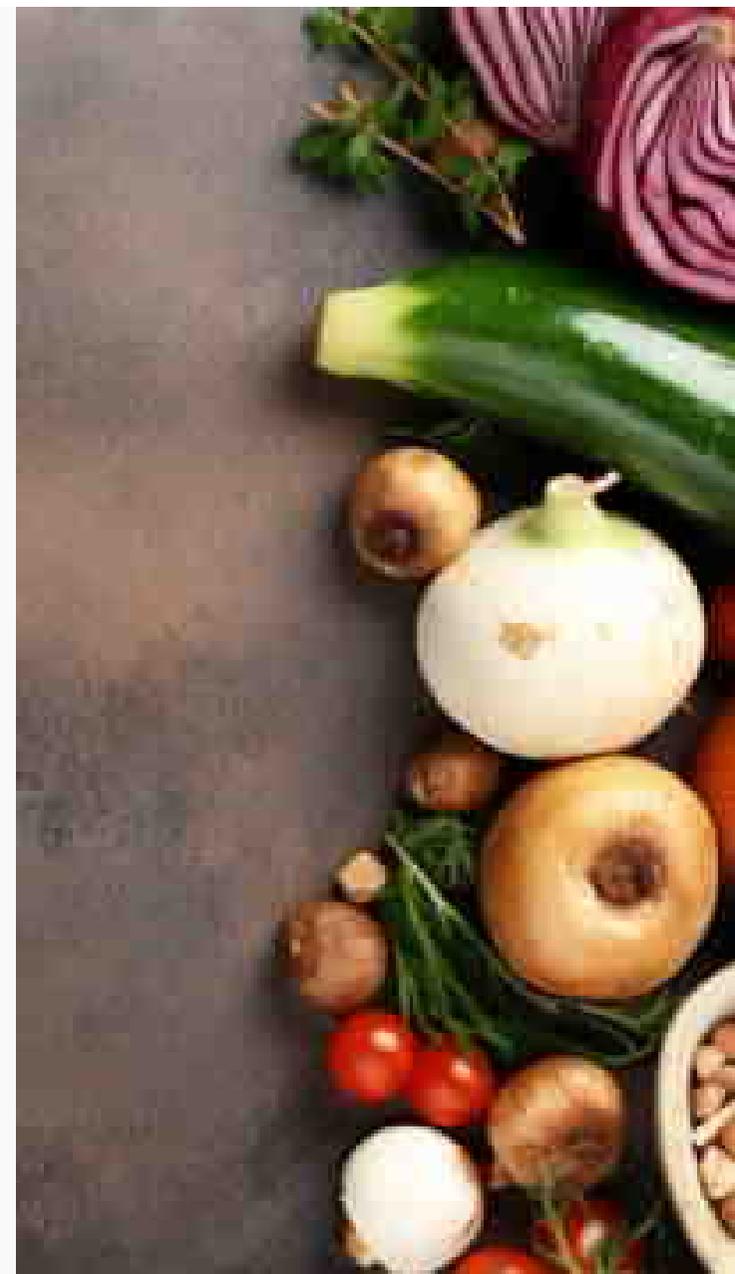


申出 提案 ダニエル1:12~13

「どうか十日間、しもべたちを試してください。私たちに野菜*を与えて食べさせ、水を与えて飲ませてください。

そのようにして、私たちの顔色と、王が食べるごちそうを食べている少年たちの顔色を見比べて、あなたの見るところにしたがって、このしもべたちを扱ってください。」

*野菜だけでなく、穀物など作物全般を指す



申出 交渉の成立 ダニエル1:14~16

世話役は彼らのこの申し出を聞き入れ、十日間、彼らを試した。

十日が終わると、彼らは、王が食べるごちそうを食べているどの少年よりも顔色が良く、からだつきも良かった*。

そこで世話役は、彼らが食べるはずだったごちそうと飲むはずだったぶどう酒を取り下げ*、彼らに野菜を与えることにした。

*背後に、主の守りと支えがあった。

*少年たちも世話役も、WIN-WINの関係

■宦官の長の目こぼしもあった？



恩寵 主の賜物 ダニエル1:17~18

神はこの四人の少年に、知識と、あらゆる文学を理解する力と、知恵*を授けられた。ダニエルは、すべての幻と夢を解く*ことができた。

少年たちを召し入れるために王が命じておいた日数が終わったので、宦官の長は彼らをネブカドネツアルの前に連れて行った。

*御霊による知恵と知識

*異邦人世界では特に重要

➔主は、異邦人には夢で告げられる

■3年が過ぎ、いよいよ王の前に!!



任官 選ばれた4人 ダニエル1:19

王が彼らと話してみると*、すべての者の中で*だれもダニエル、ハナンヤ、ミシャエル、アザルヤに並ぶ者はいなかった。そこで四人は王に仕えることになった。

*王自ら、最終面談

*支配下地域全体から集められた中でも

■4人は正式に王に仕えることに!!



祝福 最高の評価 ダニエル1:20

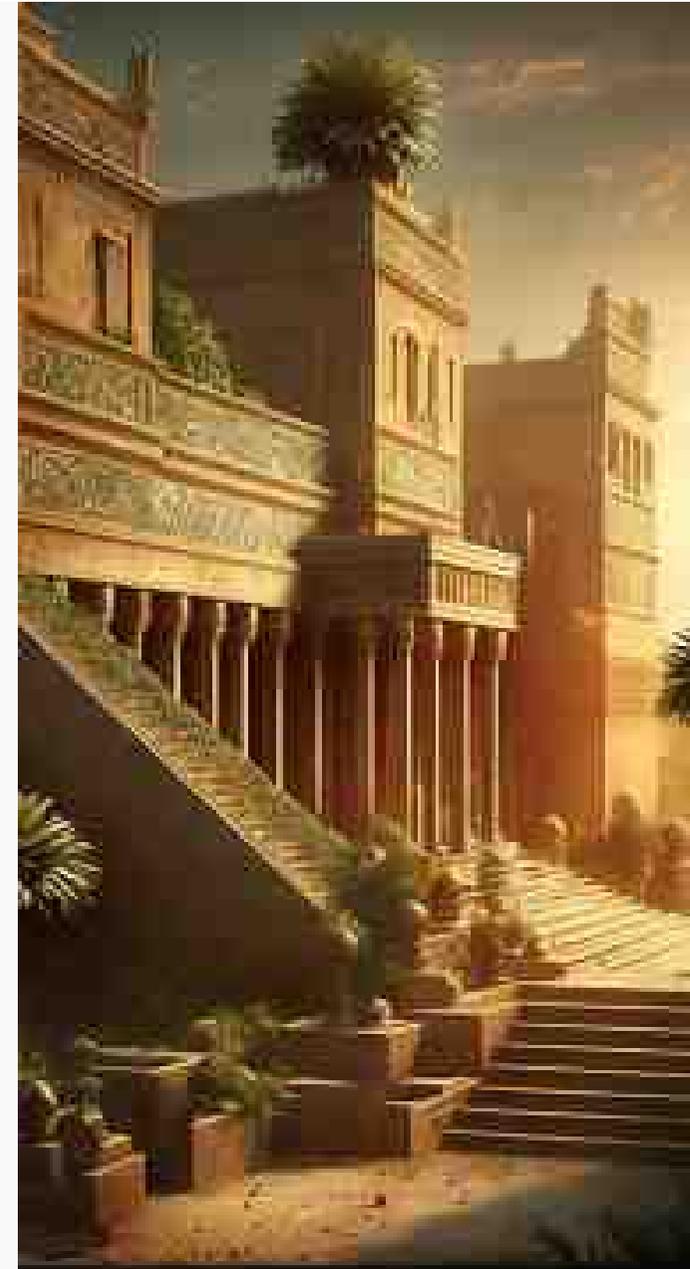
王は、知恵と悟りに関わる事柄を彼らに尋ねたが、彼らがそのすべてにおいて、**国中のどんな呪法師、呪文師よりも十倍もまさっている***ことが明らかになった。

ダニエルは**キュロス王***の元年までそこにいた。

*王から、王国最高の評価と信頼を得た4人

*ペルシア王。バビロンを征服。捕囚民を解放。

■ダニエルは、捕囚の全期間、バビロンで活動。





IV. まとめと適用

世にある寄留の民として

再現されたバビロン

ダニエルの捕囚から任官まで

- 第一次捕囚で、少年ダニエルはバビロンへ連行
- 王の家臣候補として、3人の少年たちと共に選出
- 汚れた食事を避けるため宦官の長に直訴
→ 要求は拒まれるが、命は守られる
- 世話役と交渉し、汚れた食事を避けることに
- 任官され、さらに王から、王国最高の評価と信頼を得る。

ダニエルの捕囚民への影響

- 第一次捕囚で連行され、間もなく任官。(BC605)
- 捕囚の全期間を通して、バビロンで高官を務めた。
- 第一次、第二次、第三次と連行された捕囚民にとって、ダニエルの存在は、それほど心強く、希望であっただろう。
- ➔ 第二次の捕囚民エゼキエルは、ダニエルを、ノア、ヨブと並ぶ義人と記す(エゼ8:2)

異教の地に置かれた希望 ダニエルとヨセフ

- 兄たちに売られ、偶像の異国エジプトで奴隷となったヨセフ
- 主への信仰を失わず、主によって守られ、導かれた。
- 王の見た夢を解き明かして、最高位の臣下に。
- 飢饉から、イスラエルの一族を救い出した。
- ヨセフもダニエルも、背後にはイスラエルへの神の計画が。
→ アブラハムと結ばれた一方的な**恵みの約束**は生き続ける

★ 神の国民・世にある寄留の民として ★

- 私たちは、世にあっては寄留者。異教の中に置かれた民。ただ福音を信じて救われ、共におられると主が約束された。
- 試練や苦難の中で求められるのは、ただ主に信頼すること。主の御言葉を心に刻み、主の命令に従って生きよう。
- 主は、救われるべきすべての人に、永遠の命を与えられる。主イエスは再び来られ、主の平和に満ちた世界を建てられる。

置かれたその場所で、主に遣え、用いられ、歩み出して行こう

神の国と神の義 主の約束に信頼し、主の再臨を求めて

■ マタイ福音書6:31～34

「ですから、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと言って、心配しなくてよいのです。

これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。

まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。

ですから、明日のことまで心配しなくてよいのです。明日のことは明日が心配します。苦労はその日その日に十分あります。」

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したことを信じます。

わたし うち せいれい す
私の内に、ご聖霊が住まわれています。

よ お しゅ とも
世の終わりまで、主イエスが共にいてくださいます。

お ばしょ みことば した もと しゅ めいれい したが
置かれた場所で、御言葉を慕い求め、主のご命令に従います。

しゅ みたま わたし み しゅ たす ちから つか
主の御霊で私を満たし、主の助けと力をもって遣わしてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」